

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	リハこどもデイ メイフラワー		
○保護者評価実施期間	令和 6 年 4 月 1 日		～ 令和 7 年 3 月 31 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	令和 6 年 4 月 1 日		～ 令和 7 年 3 月 31 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 4 月 30 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	セラピスト (PT,OT) の、専門的な訓練を受けることが出来る。	週一回のリハ会議を行い、PT、OTの意見交換で、より良い療育を目指している。	随時、STも募集している。PT,OT,STがタックを組み、一人でも多くのニーズに答えていきたい。
2	1階フロア、2階フロアで「静」と「動」の動きがはっきり分かれていますので、視覚にも分かりやすく、気持ちも切り替えもしやすい。	1階、2階の使い方を明確にし、利用児童が戸惑わないようにしている。1階、2階の移動は時間や絵カードで提示している。	1階運動フロアには、現在、ボルダリング、ホーススイング (リハビリ訓練機器)、トランポリンなどがあるが、もっと、訓練機器を充実させ、より良い訓練を目指している。
3	保育士の専門的な取り組み。	基本的な生活習慣の習慣づけ、本の読み聞かせ、季節の行事、製作、就学に向けての取り組みなど。	年間を通して、保護者様や利用児童が見通しが持てるような提供の仕方を考えていきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	1階フロアから2階フロアへの移動が、外階段しかない為、利用児童の制限がある。	建て直す事は難しいが、必ず職員が付き添うので、今まで1度も怪我はない。毎日の昇降で、昇降が上手になったり、体力が付く傾向が見られる。	これからも、しっかり見守りながら、安全に留意する。より良い訓練になるよう進めていく。
2	親子活動、交流会が少ない。	事業所の事情や各家庭の事情などで、日程調整や、イベント内容の構成が難しい。	大きなイベントだけでなく、小さなイベントなどでも回数を増やし、参加できる機会を増やしていきたい。
3	避難訓練の定期的な実施、保護者様への周知が不十分。	利用児童の利用日や時間帯が異なるため、いつも、不定期になってしまう。	今後、利用児童数などに関わらず、日にちを設定し、実施後には、SNSなどで発信したら良いのではないかと提案があった。